

## インハイ後のコメント

### 石川智大

自分は決勝6位の入賞でした森川先生やたつきさん保護者の皆さんの期待を超えたのではないのでしょうか??シングルという一人のスポーツで入賞できたことが嬉しかったです。陸で自分のサポートをしてくれたタツキさんや先生、補漕のメンバーには感謝しかありません。その感謝をレースで返せたのではと思います。そしてクオドが優勝した時自分は今まだ生きていて感じたことのない感動をもらいましたその感動を今度は自分がみんなに届けたいと思います!!

### 石川智大 母

予選から、ゲリラ豪雨でレースが2時間中断、他諸々アクシデントがありましたが、子供達は冷静に自分達らしいレースを楽しんでいました。

息子は、大会前のブログで、皆の口をアングリさせるレースをする。手紙では、感謝を感動で返す、と綴っていました。書かれていた通り、毎レース予想以上の結果で見事決勝まで残ってくれました。結果は6位入賞。本当にレース毎、逞しさが増したように思えました。

ダブルの内海君と荒木君のレースにも毎回感動を貰いました。準決勝のレースでは、今まで生きてきた中であれ程大声を出したことはありませんでした。まだまだ夏は終わっていません。国スポで、リベンジあるのみです!!

そしてクオドの皆さん、優勝おめでとうございます  
今までどの高校も成し得たことのないインハイ三連覇。どれだけプレッシャーがあったか、はかり知れません。応援席は、今まで味わったことの無い一体感で、ゴールした瞬間、皆涙で抱き合いました。間違い無く応援も日本一でした。感動をありがとう  
選手のサポートを全力でしてくれた、中川君、坪田君、藤野君。3人の、テキパキと黙々と動く一生懸命な姿を見て、感動を貰いました、ありがとうございました。

### 内海陽飛

今日の準決勝で自分たちダブルは今治西高校、若狭東高校、瀬田工業高校に負けてしまい4位で決勝進出できずにトップ12で終わってしまいました。応援してくださいました皆様、そして現地まで駆けつけてくれた皆様、本当にありがとうございました。  
次の国体が自分たち3年生にとってラストレースになります。最後まで悔いが残らないように今回のレースの反省を突き詰めてやり、繋げていきます。

### 内海陽飛 父

息子は準決勝で敗退という結果でしたが今までで1番いいレースを見せてくれたと思います。クオドにおいては3連覇達成!!  
昨年のある二次会で森川先生に「来年は人数が少ないから不安でしょ?でも大丈夫!絶対やったりますから!保護者会も日本一の保護者会にする!」と言われた事があり、有言実行!!さすが森川先生ですね!日本一になる瞬間を間近で見れて感動しました!!ありがとうございます。そして、補漕としてサポートしてくれた部員にも感謝です。

### 内海陽飛 母

ちに待ったインターハイ！いや…待ちに待ってはいたけど、カウントダウンが始まりその日が近づくとつれ緊張が高まる日々でした。今回は家庭の事情で予選前日から現地入りすることが出来ず、予選はインハイ TV で岡山からエールを送りました。関西クルーのレース時間が近づくとドキドキと胸が高鳴り、レースが始まってからは携帯画面越しに叫んでいました。次のレースは 11 日の準々決勝…次のことを考えるだけでドキドキしていましたが、長崎の地で保護者会の皆さんと子供たちの応援が出来ることを楽しみに、車でとことこ向かいました。

会場のコースは観覧席から近く、選手の漕ぐ姿も目の前で見る事ができ、より応援に力が入りました。

ダブルスカルは準決勝で敗退になり、本人たちも唇を噛み締めたでしょうが、まだ終わってないよ！！国スポまで短い時間ではありますが、もっともっと高みを目指して駆け抜けていこう。そしてまた私たちにかっこいいレースを、見せてくださいね。

シングルスカルの石川くん、6 位入賞おめでとうございます！観覧席の前を颯爽と駆け抜ける姿は、本当に素敵でした。

そしてクォドルプルの皆さん、優勝おめでとうございます！3 連覇達成、なかなか出来ることじゃないと思います。白旗が上がってからの観覧席の保護者達の歓声、盛り上がりは凄かったです(笑)皆が嬉し涙を流していました。日本一になる瞬間に、私も立ち会うことができ嬉しかったです。感動をありがとうございました！

選手たちのサポートをしてくれた中川くん、坪田くん、藤野くんも連日暑い中を大変だったと思いますが、皆のために本当にありがとう。

### 荒木韻希

自分たちダブルは、準決勝敗退で決勝に残ることが出来ませんでした。でも、インターハイは今まであった選抜大会や朝日レガッタよりもとても楽しくて、すごくわくわくが止まらなかったです。でも、負けは負けもっと自分が頑張って内海さんを国体では勝たせたいと思います。また、クォードが勝った瞬間自分と尾崎や松下の差はなんだったんだろうなと思いました。同学年が優勝している以上負けたくないの、国体ではクォードを自分たちダブルが超える勢いでやっていきます。

### 荒木韻希 父

今回の大会においては我が息子は残念ながら、準決勝で敗退という結果ではありましたが相方の内海君としっかり漕ぎきった結果をしっかりと見させてもらいました。

クォドルプルにおいては、最高の結果を間近で見せて貰えた事に感謝です。

子供達のガッツポーズを見ていたら自然と目に熱いものが

来月には国体があります後 1 ヶ月まだまだ自分を磨いてまた最高のガッツポーズを見させて下さい！！

### 成島乃惟

日本一のキャプテンの成島です笑。

今日、北部九州総体の全日程が終了しました。関西クォードはインターハイ夢の 3 連覇目

を達成できました！！本当に本当に応援ありがとうございました。みなさんの応援のおかげでしかありません。みなさんの気持ちに日本でお返しできて本当に嬉しいです。

レースでは準々決勝から予想外のジャイアントキリングなどもありましたが、自分たちはやってきたことに自信を持って関西らしいレースができました。一度もレースで負けずに優勝できました！やっぱり先生は超人です。

決勝では、決して油断せず勝とうとせず自分たちにだけ集中しました。スタートから飛び出せて一気にいききれました。先輩も自分の限界も beyond できました！

### 成島乃惟 母

今、岡山に帰ってきて、寂しさが押し寄せています。

今回のインターハイ！観覧席のすぐ真後ろに、関西高校の基地が設けられ、振り向けばそこに選手達がいるという環境 振り向きたいのを我慢我慢 子供達と、特に先生と目が合わないようにヒヤヒヤしてました 笑 暑さとの戦いでもあったので、毎日氷を 10 キロ用意して待機していました。3 種目とも最終日まで楽しませてくれて親孝行な子供達でした。クォドは 3 連覇！関西に来てよかった！と書き込んだ息子の投稿を見て、少し泣きましたでも、まだ終わりじゃないぞ！

シングル、ダブルは悔しかったと思う。国体で絶対、皆んなインハイ以上に力を出せると信じて応援してるよ

### 河合星芽

自分たち舵手付きクォドルプルは優勝という形で終わることができました。本当にありがとうございました。

レースの前に「先生、父さん母さん あんたの息子、部員はやりませえええ！」と叫んでやっていきました。本当に有言実行ができて凄く嬉しいです。

2 年生 2 人もこの三連覇という重圧がしんどくて辛かったはずですが。この頼もしすぎる 2 年生 2 人にも頭は上がりません。本当にありがとう！！

そして昨年辛い思いをした成島と一緒に勝てたのが何より嬉しいです。日本一のキャプテンになってしもうたがあ！！

そして竹藤！インハイ前の練習、ほんまにこいつで大丈夫かよ…と思ってしまう場面もありましたが、今となったらこいつでよかったと思います。本当にありがとう！

サポートしてくれた補漕のみんなも本当にありがとうございました。みんながテキパキ動いてくれたおかげでレースに集中できた！！本当にありがとう！！

こんなバカ息子をずっと面倒見てくれた父さん母さんも本当にありがとう！あんたの息子はやりましたでええ！！

そして森川先生、正直自分は迷惑ばかりかけるような問題児ですが、これでほんの少しは恩返しができたと思っています。

### 河合星芽 父

森川先生 たつきコーチ 息子たちを完全優勝という形で連覇に導いてくださり本当にありがとうございました。

昨年に続き、日本一になる瞬間に立ち会う事ができたらいいなと思いながら、長崎入りをしました。が、いきなり初日の予選で予期せぬアクシデントから始まり、ハラハラしまし

たが、全ての身代わりをしてくれたのだなと思い、クルー達を信じて精一杯の応援をさせてもらいました。

準決勝で選抜、朝日レガッタで苦汁を飲まされたライバル校が次々と落ちていく中、関西クルーは1位で通過！Beyond to 関西いけるぞ！アレが見えてきたぞ！と感じました。

レース前の校歌を聴くとすでにウルっときており、このままではコールがまともにできんなどと思い、気合を入れ直し、いろんな気持ちを込めて『行ってこーい！』そして、運命の決勝がスタートしました。

全力のコールにクルーたちは応えてくれ、トップでゴールインして、スタンディングガッツポーズを見せてくれました。もう、涙腺は崩壊でしたね(笑) 本当にすごいです！新たな歴史を作ってくれました！感動をありがとうございます！

遂に森川先生に1年間温めてきた幸ダルマを完成していただき感無量です！しかも、今日は僕の誕生日でもあり、今までの人生で最高のプレゼントをもらえました！本当に感謝しかありません。

### 尾崎龍也

クォードは優勝することができ見事3連覇することができました！！めっちゃ嬉しいです！！優勝できたのもあつい応援があったからです！応援ありがとうございました。優勝した瞬間はもうなにがおきたか分かりませんでした。そして1番したかった日本一のガッツポーズができて嬉しいです！これも森川先生、たつきさんの適切な指導のおかげです。ありがとうございます。森川先生はすごすぎる！！こんな経験をずっとし続けているって考えると頭が上がりません！色んな方々の支えがあってこの優勝がつかめたと思います。本当にありがとうございます。そして次は自分達の代にもうそろなります。自分がこのすごい経験をいかして絶対に4連覇してみせます！！

### 尾崎龍也 父

私がインターハイ応援へ長崎出発した日に届いた息子からの手紙の一部には「インターハイでは絶対に一位になってみせる！岡山に絶対金メダルを持って帰ってみせる！日本一のガッツポーズをするから見といて！」と書かれてました。

そして何より出発前に森川先生のブログに「勝ってくるから！」と書かれてました。

正直ボート部に入部して、まだ一年しかたっていない息子達二年生数名が乗るクォードを指導して頂き、勝ってくるからと優勝宣言されて…本当に勝ってくる森川先生・福田コーチは凄い方々なんだ

監督・コーチ・部員の毎日毎日の信頼関係が実った瞬間を現地で生で見させて頂きました。

森川先生・福田コーチ・全部員おめでとう御座います

岡山に帰る明日までは親子共々、北部九州総体2024の楽しかった4日間の思い出にひとりながら岡山へ帰ります。

明後日からは、1カ月後の国スポにむけて息子も一から頑張ると信じてます。

### 松下直道

自分たちクォードは念願のインターハイ三連覇を達成しました！今でもまだ実感がありませんがゴールした瞬間の雄叫びとガッツポーズはぼくの記憶に鮮明に残ってます。こうやって優勝することができたのも保護者の皆様の応援や補漕のみんなのサポート先生やたつき

さんのおかげだったり他にもたくさんの方のおかげで優勝という結果を手にできました！この金メダルはチームで取った金メダルです！**おそらく僕の人生で一番最高の瞬間になると思います。** ですがまだ終わりじゃありません国体まで満足せずに突っ走っていきます！

### 松下直道 母

息子は、長崎に出発前からプレッシャーを感じているのが分かりました。2連覇しているクォドルプル…どうなるのか…。大会が近づくにつれ、とにかく色々なものに感謝して、祈っていました。

準々決勝を無事通過し、ホッとしました。毎レース本当にドキドキします。迎えた最終日、ついに決勝です。ボートに乗って校歌を歌っている息子を見て、感情が湧き上がり涙が溢れてきました。関西応援団の前を通る時の、クルーを見て自分達のレースをしてる と感じました クルー5人とともにかっこいい姿に感動でしたよ 本当に優勝 純粋な気持ちで望んだ決勝レースへの思いを本当に忘れずに大切にしたい。一瞬かも知れませんが、走馬灯の様にお世話になった方の顔が思い浮かんだ事だと思います。そして更なる高みを目指す人格に成長して欲しいです。（注文が多すぎでしょうか…

レースを終えての気持ちは、感謝、本当にその言葉しか出てきませんでした。

長崎本明川は、山、海の自然の景色に囲まれていて、百間川みたいでした。あんなにたくさん飛んでいるトンボを見たのは初めてでした。岡山より日差しも柔らかく、とても良い会場でした。

### 竹藤綾真

準決勝では1位通過でき、そしてチーム成島念願の日本一をとることができました！

優勝した瞬間頭が真っ白でいつの間にか立ってガッツポーズをしていました！本当に嬉しくて涙が止まりませんでした。 仲間、親、保護者、そしてここまで成長させてくれた森川先生、たつきさんに感謝しかありません。本当にありがとうございます。

3連覇できて本当に良かったです！やっぱり出艇前に先生から**魔法の飴**をもらったのでいつも以上のパフォーマンスができました！

### 竹藤綾真 母

息子からの手紙に「**ボートで恩返しをしたいと思う。だからインターハイで優勝して日本一カッコいい息子になるから待って**と書いていた手紙、始まる前からうるっと涙が出ていました。いろんな思いでインターハイの舞台に立つ息子、森川先生からは優勝するしかないぞと言われ緊張の絶えない日々でした。

クォド優勝！！3連覇する事ができました。本当に優勝してカッコいい息子に会えるなんて、3年間ボート部で諦めずに頑張れた事、いい親孝行をしてくれたと思います。毎日が涙、涙の日々出したが保護者の皆さんとこんなにも楽しく応援できた事に感謝しかありません。

### 中川優人

結果は、周知の通りクォドルプルが優勝！シングルスカル石川が6位入賞する事が出来ました！これは、皆様の応援、支えがあったからこそ取ってくれたんだと思います。自分は補漕と言う立場でしたがこんなにすごい経験をさせてくれた選手、先生、たつきさんには

感謝しかないです。自分は、石川がこの結果を取ってくれた事が何より嬉しくて感動しました。石川はやってくれました初めての全国大会でレースの度に進化してくれたと思います。何がどうあれクォドルプルの優勝は、日本一世界一輝いたと思います！保護者の所から気が付いたらゴールまで一直線に走ってました。ゴールした瞬間何が起きたか分からず飛び跳ねてました。クォドが上がって来てみんなで抱きあって今までの努力が報われたんだなと思います。次は、自分がやる番です。国体はクォド！、次はダブル！シングル！全部の賞状を岡山にしたいと思います！

### 中川優人 母

今回息子は補漕での参加となりました。息子が出来ることを、レースを見て学んできてほしい。皆んなの力になってほしい。その思いで会場に向かいました。

レースを見てクォド、ダブル、シングル本当に素晴らしいレースを見せていただき感動しました。

クォドにおいては3連覇本当におめでとうございます。

ダブルでは内海くん、荒木くんのレース本当に素敵でした。本当にお疲れ様でした。

シングル石川くん頑張り凄かったです。お疲れ様でした。

暑い中大会期間中に補漕で息子と一緒に頑張ってくれた藤野くん、坪田くん本当にありがとうございました。感謝しています。

大会に私を連れて行ってくださった内海夫婦長距離の運転本当にありがとうございました。道中ずっと笑っぱなしの旅は本当に楽しかったです♪こんなに行きも帰りも笑える旅一生忘れません

### 藤野拳人

クォドが優勝して石川が6位入賞という結果でした。自分は補漕として行かせて貰いました。クォドのレースでクォドが1番だった時めちゃくちゃ嬉しくて自分も周りにいたちひろとかと喜んで、めちゃくちゃ感動しました。陸からたつやー！！よく頑張ったぞ！！と興奮する中言いまくったのを覚えています。そして上がってきたクォドの皆んなともめちゃくちゃ喜びました。これが人を喜ばせる、感動させるレースだなと感じました。とても嬉しくて、昇天しそうでした。でも、表彰式の時悔しさも湧いて来ました

今回で最強のコックスになったたけとうさんに差を付けられてしまい、やっぱりレースにも出たい！！と思いました。今回のインターハイでたくさんの経験を得ることが出来ました。もっともっと成長して竹藤先輩を超えられるように頑張っていきます！！

それにしても3連覇めちゃくちゃ最高です。ありがとう！！

### 坪田学虎

なんと今回の決勝でクォードが1位でゴールすることができました。自分はゴール地点でクォードが来るのを見てました。最初に関西のクルーが最初に見えた時にクォードが勝って思ってたワクワクしました。クォードが勝って自分も負け続けのままでは行けないなと思いました。



**関西 史上初 V3 高校総体ローイング 男子かじ付き4人スカル**

西はスタートから飛び出し、最後までペースを落とすことなく、他艇を寄せ付けなかった。2位に2秒35分の差の3分17秒74でゴールすると、選手たちは雄たけびを上げ、偉業達成の喜びに浸った。

関西は予選、準々決勝、準決勝でいずれも組1位となり、決勝に勝ち上がった。(杉本明信)

全国高校総体（インターハイ）のローイングは12日、長崎県の本明川水上競技場（1000辺）で決勝が行われ、男子かじ付き4人スカルで関西（竹藤稜真、成島乃惟、尾崎龍也、河合星芽、松下直道）が3年連続6度目の頂点に立った。同種目を3連覇するのは大会史上初めて。（16面に関連記事）6艇で争った決勝で、関

大規模な地震発生時に5分の津波到達が予想される徳島市の特養「阿波老人ホーム仙寿園」では、担架や水を入れるタンクなどの備蓄品が十分かどうか見直しを始めた。災害時は2階に入居する高齢者約40人を3階以上に避難させる計画を作成しているが、夜間は2階の当直職員は2人のみ。責任者は「地震でエレベーターが停止したら、全員を無事に避難させられるのか」と想定外の事態発生に警戒感を高めた。

ローイング男子かじ付き4人スカルを3連覇した関西の（左から）森川幸夫監督と成島乃惟、竹藤稜真、河合星芽、尾崎龍也、松下直道＝長崎県本明川水上競技場

2024.8.9-12

優勝おめでとう!!

**男子かじ付き4人スカルV3 アクセル全開で圧倒**

金塔塔を打ち立てた。最初からアクセル全開で、力強いスタートで、先頭を走り抜けた。決勝は、このままのペースで、最後まで先頭を守り抜いた。3月の全国高校選抜大会で、このままのペースで、最後まで先頭を守り抜いた。3月の全国高校選抜大会で、このままのペースで、最後まで先頭を守り抜いた。

**インターハイ**  
 全国高校総体（インターハイ）第17日は12日、長崎県などで行われ、ローイングの男子かじ付き4人スカルは関西（竹藤、成島、尾崎、河合、松下）が3年連続6度目の優勝を飾った。女子ダブルスカルは岡山東商の湯浅朱濤と藤岡咲希花のペアが3位に入った。（1面関連）

# 関西「最高の気分」



ローイング男子かじ付き4人スカルを3連覇し、喜びを爆発させる関西のクルー。長崎県本明川水上競技場

甲府（山梨）に26-36で敗れて3位。ボク（関西）も準決勝で敗れ3位だった。柔道の男子個人戦では90kg級の神田琉亮（作陽学園）と100kg級の高橋稜元（同）が5位に食い込んだ。

ハンドボール男子の総社は準決勝で、3月の全国高校選抜覇者・駿台

**ローイング**

3分57秒02  
 ①加茂（岐阜）4人スカル  
 ②加茂（岐阜）4人スカル  
 ③加茂（岐阜）4人スカル  
 ④加茂（岐阜）4人スカル  
 ⑤加茂（岐阜）4人スカル  
 ⑥加茂（岐阜）4人スカル  
 ⑦加茂（岐阜）4人スカル  
 ⑧加茂（岐阜）4人スカル  
 ⑨加茂（岐阜）4人スカル  
 ⑩加茂（岐阜）4人スカル

**柔道**

大分県立ナツクワ武道S  
 ①男子81kg級 藤田 勇  
 ②男子90kg級 藤田 勇  
 ③男子100kg級 藤田 勇  
 ④男子110kg級 藤田 勇  
 ⑤男子120kg級 藤田 勇  
 ⑥男子130kg級 藤田 勇  
 ⑦男子140kg級 藤田 勇  
 ⑧男子150kg級 藤田 勇  
 ⑨男子160kg級 藤田 勇  
 ⑩男子170kg級 藤田 勇

先生のお言葉の前に少し感想を書いてみよう

美方は何処にいったの?? クオドの決勝に福井勢が居ないなんて、こんな事があるなんて!!思わずレース結果を遡って見てみましたよ。準決勝敗退って・・・ダブルは若狭東が優勝を決めてる。女子のダブルで美方が、女子シングルで若狭東が優勝しているが女子もクオドは準決勝敗退していた。毎年毎年選手が入れ替わるから仕方がない。福井県勢は底力が有るからどっかの高校が優勝してるよね。そして、シングル!!出ましたよ鳥取城北高校!!気に成ってたけどやってくれましたね。鳥取勢の優勝は10年ぶりだそうです。

他校の事ばかりブツブツ言ってるのも何なので関西についての感想も～田川さん行っちゃいましたねえ!分かります分かります。気に成りますよねえ。去年の感動を今一度見てみたくなりますもん。私も息子が卒業したのにH20年のインハイ(戸田)と大分国体(熊本・班蛇口湖)単身で行っちゃいましたもん。まあ、その後もちよくちよくあちこち覗いてますが・・・現役保護者の方も喜んでましたね。心強かったと思いますし、田川さんの目の前で優勝できたのは本当にホッとされたのではないのでしょうか?

成島君も関西高校ボート部に入学して良かったと親子共々思われたと思います。他県からわざわざ来ていただいた部員が満足できる結果を出せたのがとても嬉しいです。それから、竹藤君・・・どうしてもCOXは気に成る所で、朝日レガッタに出られず悔しい思いで今回頑張ったと思います。河合君も語ってますが、この大会で進化したんですね。おばちゃんはホッとしましたよ。丘では雑用係でも艇に乗れば司令塔なのですからクルー全員から信頼される男に成らなければ!!以前も応援日記に書いてますが、「艇に乗った時にキャプテンとクルー長とどっちが偉いの?」の質問に息子は即答で「COX」と言い切りましたよ。(笑)そして、今回大活躍の石川君・・・シングルでの決勝進出は凄い事なんです。関西はクオドに重きを置いていますから、イメージがどうしても対抗から漏れた感が否めません。(私のイ

メージが古いのかも?) 兎にも角にも本当におめでとうございます!!

あ〜やっと思御大のコメントが上がって参りました。

### 森川先生のお言葉

表彰式後、福岡・博多へ。そこでドカ〜〜〜ンと飲もうと思っていましたが、あまりに疲れていたのでは不発?に終わりました。(うちの優秀な?戦士たちには優勝のご褒美?として夕食費を渡していました。何処に行ったのでしょうか?)

その日は早く寝ようと思っていました。が・・・、一晩中、私にお祝いメールが!!着信音であまり眠れませんでした。たぶん 100 件近くお祝いメールが届いたと思います。電源を OFF にしておけばよかったです。

マイセン…私もラインしてました

そして翌日 13 日、午前 8 時過ぎに博多を出発。(途中広島辺りで約 20 分の仮眠を入れて)午後 16 時頃旭川に到着したしたのではないのでしょうか?その後学校へ。天下の大將軍様の凱旋です。(笑) 沢山の保護者が出迎えて下さいました。そこで皆で声高らかに万歳三唱。バンザ〜〜〜イ\(^-^)/、バンザ〜〜〜イ\(^-^)/、バンザ〜〜〜イ\(^-^)/ 大変気持ちよかったです。

インターハイに出場した選手、ましてやメダルを獲った選手とかは、自分の可能性を開花させた選手です。100%ではないかもしれませんが、相当高い割合です。では、どうやって可能性を開花させたのか?努力なのか?頑張りなのか?それは当然ですが、努力したから!頑張れたから!の前に、なぜ努力できたのか?どうして頑張れたのか?ここを忘れたら、多くの選手は頑張り切れないで終わります。頑張るという行動に至るマインドの状態。ここに可能性を開花させる鍵があるのではないのでしょうか?

インハイから帰って、国スポへ向けて研修に励んでいるのかと思っていたら・・・部バイトって・・・。部バイト、懐かしい言葉ですね。我が家の愚息が大学時代の冬休みに部をあげてバイトしておりました。バイト代は部の活動費に献上してました。当時一日一万円の肉体労働を八日間。バイトさぼったら自腹でした(笑)年末なかなか帰って来ないと思ったらコレですよ。ま、部バイトについては後ほどにして、先生の備忘録をどうぞ。

### インハイ備忘録①

関西高校ボート部は、いろんな方々のおかげでインハイ三連覇を為し得ました。ここで部員たちの手記を紹介したく思います。一発目は今夏『日本一の主将』になった成島乃惟です。本人には無断ですが・・・。(笑)

《8月12日》今日は大会最終日、準決勝と決勝の日だった。準決勝ではやってきたことをやってスタートからイキされた。K 高校と M 高校が別の組の準決勝で敗退したので「俺たちがやったるわ!」という思いだった。レース後すぐに公民館へ行き、仮眠と栄養補給をとった。これが勝負の鍵になったと思う。決勝では、いつもどおりをやって自分達に挑戦していった。アップから祭りのように盛り上がっていった。あまり緊張はしなかったが、

3分後にはこの6クルーのうちのどれかが日本一のガッツポーズをすと思うとゾクゾクした。0~500を死ぬ気で取りにいっつもりでロケットスタートした。スタートも決まり750mまでイキきった。そこから鬼スパートを掛けた。ラスト125mは笑っていたと思う。ゴールした瞬間、今までにないぐらい気持ちよく叫びまくった。これが先輩たちが見てきた景色なんだと思った。このチームで史上初の三連覇ができて嬉しい。陸に上がって皆を抱き締めた。やっと夢が叶った。この金メダルは皆で勝ち獲ったもの。これからも謙虚に感謝の気持ちを持って国スポまで駆け抜ける。今日も『関西高校、イチバ〜〜〜ン!』《おわり》

## インハイ備忘録②

日本一の Super Cox? になった竹藤綾真です。

《8月12日》今日は朝5時15分迄にマイクロバスに積み込み完了してエルゴ確認をしていった。朝食後、会場である諫早市の本明川へ出発。移動中、ドキドキとワクワクが止まらなかった。

10時10分準決勝。スタートから勢いよく出れて、250で完璧に出ることができ、そのままトップでゴール。決勝進出を嬉しく思った。その後休憩をしてからいよいよ決勝。出艇前に先生から魔法の飴をもらった。いつもより2倍声が出たと思う。出艇してからは「明るくやっぺいこう!」と話しかけた。アップ中、爆風スランプの「Runner」を皆で大声で歌いながらノリノリだった。レース5分前、ステッキに着けた時、「楽しんでいこう!先輩越えるぞ!」とお互いに声を掛け合った。

13:00、Attention Go! レースが始まった。スタート100でS高校とK高校と並んだ。ここでイベントを入れて加速し、徐々に離れた。400を半艇身で通過。「ここでスパートしかない」と思い、450で最初に仕掛けた。そこで一気に1艇身離すことができた。「絶体イケる!」そしてゴール。1位だった。ゴールした瞬間、頭が真っ白になった。艇の上で自然と立ち上がりガッツポーズをしている自分がいた。こんなに嬉しくなったのは初めてだ。レースが終わって桟橋に戻る時、クルー全員で校歌を歌った。とても気持ちよかった。これが日本一の景色か!

陸に上がってからは仲間・保護者・先生・竜己さんには「ありがとう」の言葉しか出て来なかった。藤野、ここまで支えてくれてありがとう。藤野がいなかったらこの自分がここまでいけることはなかったはずだ。先生・竜己さん・保護者の方々、本当にありがとうございました。皆が支えてくれたので『日本一』が獲れたのだ。明日は岡山に帰る。もう一度金色に輝くメダルを見せたいと思う。両親にメダルを掛けたい。本当にありがとうございました。《おわり》

## インハイ備忘録③

兎島のHERO、次のキャプテン、尾崎達也です。

《8月12日》今日は準決勝・決勝があった。結果は・・・優勝!三連覇!!めちゃめちゃ嬉しい!今までの苦しさが吹き飛んだ。ほんまに嬉しい!この優勝は、いろいろな方々のおかげで手に入れたものなので本当に感謝しかない。先生・竜己さん・〇〇さん、そして保護者の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

明日からは自分達の代。絶体に四連覇してやる。自分も大和さん・河合さんみたいに二年連続インハイ優勝してみせる。あらためて先生・竜己さん、約一週間ありがとうございました

した。もっともっと人を感動させるよう頑張ります。

《8月14日》今朝起きると、お祖母ちゃんから全国優勝のお祝いとして( ? )円、父さんから( ? )円戴いた。イエ〜〜〜イ！！ 親戚のおじちゃんから電話が掛かってきて「まさか尾崎家から日本一が出るなんて！おめでとう！！」と言われた。めちゃ嬉しかった。もっともっと頑張って尾崎家の宝になってやる。《おわり》

私は部員たちにしばしば言ってます。「人の生きる価値はどれだけ人を喜ばせるか？」 達也、インハイ優勝おめでとうございます。貴方は私の宝です。国スポ勝って伝説を作ってみい〜！！



全国高体連ローイング専門部より



#### 備忘録④

このインハイを通じて劇的な進化を遂げた？「関西高校の Lethal weapon」、全国初デビュー、シングルスカル第6位入賞の石川智大です。

《8月12日》今日も午前5時15分に玄関に集合してエルゴ等をして、その後朝食を摂って会場へ。準決勝は9時21分のレースだった。時間を勘違いして31分だと思って水上で練習をしていたら審判艇が自分のところにやって来て、早くステッキに付けるようにと注意を受けた。マジで焦った！Yellow Card(警告)をもらった。レースでは最後まで負けていたが、鬼スパートで3位で決勝に行けた。決勝レースでは、750手前まで3位だったが、最後のスパートでミスが重なり6位でFinish。

インターハイ、とても楽しい大会だった。この大会で色んな人の予想を「beyond」できてよかった。《おわり》

そうです。誰が智大が決勝進出すると思ったのでしょうか？はっきり言って私の予想も「beyond」しました。おそらく応援してくれるお母さんも他の保護者・仲間たちも？！智大はレースの度に進化しました。これぞまさに練習ではできない Race Majic。が、このマジックは自分だけで成し得たものではありません。支えてくれたお母さんをはじめ沢山の方々のおかげです。ならば今後何をしなければならぬか？どうあるべきか？を考え、更なる進化を遂げて欲しいです。(あと10キロ・あと10秒UP)

それにしても①・・・決勝レースのラストスパート、あそこでブイバコがなければ？！神様が「お前にはまだメダルは早い！もっと精進せえ！」と告げてくれたのかもしれませんが。『今、あなたに起きてる事は必要かつベスト。』

それにしても②・・・準決勝レース前に「Yellow Card」をもらったなんて知らなかったわあ！何で時間を間違えんねん？！「虎の巻」、渡してるやろが！！

## 備忘録⑤

今日の備忘録は関西高校 No.1 のテクニシャン、総社のヤ○キー、国スポでリベンジが期待される荒木韻希です。

《8月12日》今日は朝5時に集合してエルゴだった。その後会場に移動。9時49分から準決勝だった。スタートでS高校とI高校に出られてしまい、500は4クルーと並んだ。750過ぎてW高校と3位争いになった。しかし、スタミナ不足で置いていかれ、4位でFinish。準決勝敗退となってしまった。あれだけ大会前に「インターハイではやってやる！」と言ったのに、こんな不甲斐ない結果で自分が惨めでしょうがなかった。

決勝レース、関西クォドは優勝、シングルの1位はO君(鳥取O北)、石川は6位。自分をのぞいた中国地区の2年生は皆、優勝・入賞していた。ここまでボートがボートが面白くないと思ったのは初めてだった。もうこんな惨めな思いはしたくない。国体までに死ぬ気で体重を70キロOVERにして、「荒木が内海を勝たせた」、「荒木が艇を進ませたから勝てた」と全国のボート選手に言わしめるぐらい努力する。もう誰にも負けたくない！俺がやる！！ Beyond 弱虫な荒木！ 打倒荒木！！ 《おわり》

## 備忘録⑥

何と・・・河合母さんです。お母さん手記を載せるのは初めて・・・かな？！（すみません。無断で掲載させてもらいました。）

《8月18日》「ありがとうございます」本当にこの一言に尽きます。嬉しさが倍です。昨年、大和君が二連勝を引き継いで大変なことになった。と正直思いました。三連覇？誰と？星芽で大丈夫？ 幸だるま、先輩たちと一緒に書いてもらっておく？両目になる？不安だらけの一年がスタートして今に繋がって本当に本当に良かったです。こんなに人のおかげ・・・を感じたことはありません。

先生のおかげ、タツキさんのおかげ、このチームのおかげ。チーム成島、最高だった。🌟乃惟君と昨年二年生であちこちに行って、乃惟君の悔しさを一緒に晴らせて本当に良かった。後輩たちが頼りがいがあった。優勝した時、松下君が「河合さん、立ち上がって下さい！」と言ってくれて、艇の上に立ち上がった事を聞きました。こんな事をしてくれる後輩・・・。🌈 森川先生、本当にありがとうございました。国スポ、ついにラストレース！ 悔いなく！！《おわり》

## 感想文

踊る大漕査線@長崎 『Beyond』 関西高等学校 森川幸夫

今年もいろんな方々のおかげで『踊る大「漕」査線@長崎』が完結しました。無事、犯人確保しました。漕査協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

今年度のインターハイにおいては、選手が毎年のように入れ替わるにもかかわらず、関西高校にとっては、一昨年（愛媛）、昨年（北海道）に続き大会三連覇がかかっていた。選手たちは「先輩から受け継いだバトンを落とすまい」と相当プレッシャーが掛かっていたと思います。（実際このプレッシャーを掛けていたのは私かもしれませんが・・・）そういったことで、春の選抜大会以降もあまり思ったようなパフォーマンスを発揮するこ

とができませんでした。選手たちの気持ちが、「攻める」というより「守り」になっていたのかもしれませんが。何かしら手枷・足枷がついているような気がしました。

そして、7月上旬、「おまえらのライバルは何？誰？」と尋ねたところ、選手たちは口々に「〇〇高校、△△高校」と答えました。はたしてそうだったのか？本当のライバルは、昨年の先輩たち。いや、過去に自分たちが見てきた全ての先輩たちだったのです。そして、それからはインターハイへ向けてのチームタイトルを『Beyond the KANZEI』（今までの関西高校を超える）としました。Beyond とは「超える」という意味。全国優勝とか三連覇とか考えずに、練習から「昨年の先輩を超える」、「今までのスピードを超える」、「自分の限界を超える」、「人の予想を超える」と日々努力してきました。

8月12日、迎えた決勝。出艇前、私は選手たちにこう言いました。「着順なんてどうでもええ。こんな楽しい時間はないで。思い切り楽しんで、思い切り飛び込もうや。昨日の自分、いや、今までの自分を超えようや。笑っていくでえ！」そして、ついに優勝。私は、ゴールインして雄叫びを上げながら喜びを爆発させる選手たちを見て涙しました。

こいつら、ほんまに Beyond したわあ。俺を Beyond してくれた。カッコいい！史上初の三連覇達成、おめでとう。感動をありがとう。《おわり》

## 感想文

あ り が と う を 強 さ に 変 え て 感 謝 を 感 動 で  
関西高等学校 2 河合星芽

『ありがとうを強さに変えて北部九州総体』今回のインターハイのスローガンです。支えてくれた沢山の方々へのありがとうが、強さに変わった大会であったと思います。このスローガンは、まるで自分のために作られたように感じました。今年は舵付きクォドルプルにおいて、三連覇がかかった大切な大会でした。昨年、北海道で先輩と一緒に見た日本の景色は最高でした。もう一度あの景色が見たい！もう一度日本一のガッツポーズがしたい！支えてくれた人を感動させたい！ありがとうを強さに変えたい！そう思いインターハイに臨みました。

予選のスタート直前に、お世話になった人、大切な人を目を閉じて思い浮かべました。いつもなら終盤でスピードが落ちてしまうところで、力がみなぎりました。予選・準々決勝・準決勝をトップで勝ち上がることができました。

そして迎えた決勝。ステッキに着けてもう一度目を閉じました。スタート直前まで全員で「楽しんでいこう。笑っていこう」と声を掛け合いました。Attention Go！最初からアクセル全開で漕ぎ、250m地点で少し前に出ました。450m辺りでコックスの「スパートいこう！」で一気に前に出て、終盤には一艇身ほどの差となり、そこで勝利を確信し、本当に優勝できるのかと思うとゾクゾクしました。そしてそのままゴール。優勝！三連覇達成！その瞬間、私は頭が真っ白になり、自然と拳が突きあがり雄叫びをあげていました。同時に、ありがとうを強さに変えて、支えてくれた方々に感謝を感動で返せた瞬間でもありました。

今夏、この北部九州総体を通じて、世界で一番熱く楽しい夏になりました。次は国スポが待ってます。もう一度勝つ喜び・感動を味わいたいです。支えてくれた方々に感謝を感動で！佐賀の一番速い風になります。《おわり》

日本一の景色  
関西高等学校

C 竹藤綾真

大会最終日、朝5時15分迄にマイクロバスに積み込み完了して、エルゴ確認をしていった。朝食後、会場である諫早市の本明川へ出発。移動中、ドキドキとワクワクが止まらなかった。

10時10分準決勝。スタートから勢いよく出れて、250mで完璧に出ることができ、そのままトップでゴール。決勝進出を嬉しく思った。その後休憩をしてからいよいよ決勝。出艇前に先生から魔法の飴をもらった。いつもより2倍声が出たと思う。出艇してからは「明るくやっぺいこう！」と話した。アップ中、爆風スランプの「Runner」を皆で大声で歌いながらノリノリだった。レース5分前、ステッキに着けた時、「楽しんでいこう！先輩越えるぞ！」とお互いに声を掛け合った。

13:00 決勝、Attention Go！レースが始まった。スタート100mで他艇と並んだ。ここでイベントを入れて加速し、徐々に離れた。400mを半艇身リードで通過。「ここでスパートしかない」と思い、450mで最初に仕掛けた。そこで一気に1艇身離すことができた。「絶対イケる！」そしてゴール。1位だった。ゴールした瞬間、頭が真っ白になった。艇の上で自然と立ち上がり、ガッツポーズをしている自分がいた。こんなに嬉しかったのは初めてだ。レースが終わって栈橋に戻る時、クルー全員で校歌を歌った。とても気持ちよかった。

**これが日本一の景色か！**

陸に上がってからは仲間・保護者・先生・コーチには、「ありがとう」の言葉しか出て来なかった。藤野（後輩・二年生COX）、ここまで支えてくれてありがとう。藤野がいなかったら、この自分がここまで成長することはなかったはずだ。先生・コーチ・保護者の方々、本当にありがとうございました。皆が支えてくれたおかげで『日本一』が獲れたのだ。明日は岡山に帰る。もう一度金色に輝くメダルを見せたいと思う。両親にメダルを掛けたい。本当にありがとうございました。《おわり》

インゴールしての日本一のガッツポーズ、皆で涙ながらに歌う校歌、そこから見える景色、どんな気持ちだったでしょう？私たちは、**その一瞬のために**頑張っているのです。ところで、魔法の飴、美味しかったかい？

## 感想文

Beyond the KANZEI

関西高等学校

主将 成島乃惟

令和6年度全国高校総体は、長崎県諫早市の本明川で開催された。私は、このインターハイでどうしても日本一になりたいと強く願っていた。なぜなら、三連覇がかかっていたからだ。主将として、自分たちの代で先輩たちから受け継いだバトンを絶対に落とすことができなかった。春の全国選抜大会では三位、五月の朝日レガッタでは二位と、あと一步のところまで優勝を逃してきた。“三度目の正直”を信じ、今度こそインターハイで一位を獲ろうと決意していた。

会場では、連日続く猛暑との戦いだった。容赦なく照りつける日差し、36°Cを超える厳しい暑さ。それでも、極力日陰で過ごし、体力を温存するよう努めた。そして、ついに予選の日が訪れた。予選で勢いをつけようとクルーで話し合い、水上アップをしていた矢先、

レースの10分前にバウのオールが折れるというアクシデントが発生した。しかし、陸にいる先生やサポートメンバーのおかげで、なんとかレースに間に合うことができた。この出来事を、神様が今の自分たちを見つめ直す機会を与えてくれたのだと思った。予選レースでは一位で勝ち上がり、その反省を活かし、それ以降のレースはお祭りのように明るく、楽しむ気持ちで臨んだ。

大会最終日、いよいよ決勝戦。優勝や三連覇を意識すると、どうしても「守り」に入ってしまうため、「**日本一楽しんで、今までの自分を超えよう。Beyond the KANZEI!**」と心に決めた。13:00、発艇。「Attention Go!」の合図とともに、関西クルーのチームポリシーである「Get ahead, do not get tired」（前に出れば疲れない）を胸に、スタートダッシュを決め、500m地点をトップで通過した時、他のクルーを圧倒していると感じた。750m付近からのラストスパートは、苦しさを全く感じることなく、ただただ楽しいものであった。きっと笑顔だったと思う。そして、そのまま歓喜のゴール。ゴールブザーを最初に鳴らしたのは関西クルーだった。**念願の高校ボートの頂点、日本一に輝くことができた。**

日本一になれたこと、いろんな方々との約束を守れたこと、何より先生やコーチ、保護者や家族が喜んでくれたことが、本当に嬉しかった。今までの苦しみや辛さに耐えてきたことが、すべて報われた。これこそが、一生忘れることのない、**日本で一番熱い夏の思い出だ。**この優勝は、自分たちだけの力で掴んだものではない。これからも感謝の気持ちを忘れず、さらに謙虚に努力していく。次の目標は国スポ。佐賀で、**本物の「Beyond the KANZEI」を必ず成し遂げてみせる。**《おわり》